

Ai愛労連

愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://wwwairoren.gr.jp>
2015年6月号 発行人 吉良 多喜夫

愛労連第2回評議員会

■とき 5月30日(土)
13時開場 13時半開会
■ところ 労働会館本館2階会議室

安倍政権は、5月中旬に「安全保障整備」法案を上程する構えです。これに先立ち、日米首脳会談で安倍首相は「日米ガイドライン」の改定で、米軍の行動に“切れ目のない”支援を約束をし、ここでも米軍とともに自衛隊が戦争に参加することを“合意”したのです。首脳会談後の共同記

者会見では、新基地反対の沖縄の民意には触れず「普天間基地の痛みは辺野古新基地建設が唯一の解決策」として、建設強行の姿勢を改めて鮮明にしました。

安倍内閣の暴走止めよう！デモ



安倍内閣の暴走止めよう！デモ

安倍首相の暴走をこれ以上許すわけにはいきません。戦争立法の危険性は、自衛隊員に限定されず、国民がテロや戦闘の被害にさらされることになります。こうした内容は隠し、国会の事前通知か事後通知など手続き論にすり替えていました。

安倍政権は国会を延長し

までこの戦争立法を成立させるとしています。これに反対するため当面、「憲法と平和を守る愛知の会」が提起している毎週土曜日の宣伝活動を成功させ、地域に広げていくことです。

集会に参加して
意思を示そう

集会・講演会・デモと各所でアピール

安倍内閣の暴走を止めよう！



安倍政権の「戦争する国づくり」強行に対し、反対の声が各所であがり、行動が広がっています。4月28日には弁護士や市民団体、労働組合、個人などが呼びかけ、700人が集まって中区栄で集会を開催。続いて5月3日の憲法施行68周年・愛知憲法会議結成50周年記念・市民のつどいでは憲法の大切さを学習したのち、街頭でのデモ行進をおこなっています。5月初旬には秘密保全法に反対する愛知の会など「戦争法制に反対」する仲間で連続行動もとりくまれました。

4月28日、「安倍内閣の暴走止めよう」と県下の弁護士や労働組合、平和団体が呼びかけて集会を開催し、700人が若宮広場に集まりました。呼びかけ人の一人である「秘密保全法に反対する愛知の会」共同代表の中谷雄二弁護士は、憲法違反の武力行使をもくろむ「戦争法制定」に反対しようとした。続いてあいち



愛知県医労連執行委員長
西野ルミ子さん

『再び白衣を戦場の血で汚（けが）さない』この言葉は医労連が戦後70年間守り続けてきた言葉です。先の大戦で、医師や看護師は従軍看護師として戦地に送り込まれ、兵隊の治療を行い再び戦地に送り込み戦争に加担をしてきました。この悲惨な体験を再び繰り返さないと語り継がれてきました。私たち医療・介護・

悲惨な体験繰り返させない

福祉労働者は人が殺し殺される戦争に一貫して反対を貫いてきました。いま、安倍政権の下で平和憲法が脅かされています。私は子ども、孫がいます。かけがえのない尊いのちが奪われていくことを黙って見過ごすことはできません。私は平和のために働きたい。昨年の7月から医労連執行委員会後に金山駅で集団的自衛権反対宣伝・憲法守れの署名宣伝行動を行っています。医療従事者の誇りをかけて、戦争推進勢力と対峙していく決意です。

職場から反撃を

「安倍政権の暴走が止まらない」いま、私たちの職場名古屋港においても、港湾の軍事利用化にむけた策動が高まっています。昨年7月、港まつりで多くの市民が「花火大会」を楽しんだ夜、夜陰に紛れて金城ふ頭にフェリー「はくおう」が入港し、北海道で演習をした守山の部隊が戦車、大砲などを陸揚げしました。私たち



平和な名古屋港を未来へ

も参加する港湾労組と「平和と憲法を守る港区連絡会」は港湾管理者と自衛隊への抗議を行うとともに、平和憲法を守るために学習と活動を強化しています。先日、沖縄・辺野古の運動に連帯して、映画「虐殺の海」の自主上映会を開催し、多くの皆さんに見ていただきました。今年も新入組合員をむかえ、若い人たちが平和で楽しく将来に希望が持てる名古屋港であるためにも、職場と地域を挙げて頑張りたいと考えています。

こうむ 生まるためには希望や目標を持つた者同士が連帯して仲間が作られる。価値観の共有が仲間を作り、連帯を強く大きくする▼映画「パレードによるこそ」では、1984年からの英・炭鉱労働者のストライキに同性愛者の一部グループが支援の声を上げた。しかし、その支援は同性愛者への偏見から受け入れられなかつた。ウエルズ地方の労働組合がひょんな事から受け入れることになった。しかし、偏見には根強いものがあり、連帯するには長い時間を要していました。ストは、閉山を回避させた労働者の勝利で終結し、翌年行われた同性愛者のパレードには多くの炭鉱労働者が参加した：▼差別と被差別、抑圧と被抑圧、使用者と労働者：社会には多くの対立関係が存在し、これに偏見が加わる。今日の日本社会で政府と対立する代表例はオキナワでありフクシマである。財界・政府の要望である労働者の流動化に対し、歯止めがかからず労組側は押され気味である。不安と絶望に落とされた者が再び這い上がり、切り拓いてきた。朝が来ない夜はない。諦めないこと、希望を持ち続けること、多くの仲間と連帯すること。どんな闘いでも、どんな場面でも明るく、連帯の輪を大きくしたい。(K・T)

建交労で2つの組合結成！

名北合同支部成和環境分会

名北合同支部河村商事分会

2015春の
組織拡大月間



春日井で建交労・名北合同支部河村商事分会が結成されました。建交労では、4月に入り2つ目の組合結成となります。

株河村商事は、小牧や春日井、大府に事業所をもつ古紙センターです。結成の経過は、一人の社員の転勤話が浮上したことでした。社内の雰囲気が悪くなる中、転勤をやめさせようと署名にとりくみました。会社は話し合いにも応じず、「労働組合の力が必要」と建交労に相談したのがきっかけです。